

8月の果実の見通し

令和元年7月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
日本なし類	千葉 茨城 福岡	8605	105%	8257	334	高い	344	-	-	福岡・佐賀産の10kg箱の販売は、7月25日からスタート。生育順調で大玉傾向(24玉、28玉)で8月初旬より出荷ピークに入る。7月25日から千葉産(長生)の「幸水」、8月1日から茨城産(10kg)の販売開始となる。本年は前年と比べ生育が若干遅いが、九州産は上旬で「幸水」の出荷が終了する。8日頃から千葉産が出荷ピークに入り、盆明け後には栃木産が増量、20日過ぎから福島産「幸水」が出荷開始、20日頃から福岡産「豊水」が始まる予定。
もも類	福島 山形	4490	80%	5543	568	前年並み	483	438.0	9.8%	6月は曇天続きで梅雨寒となったが、山梨産は品種の切り替えが早く進み「川中島白桃」が8月上旬から旧盆にかけての出荷となる。玉肥大も良く大玉の販売になるが、出荷量は前年に比べ少ない。長野産の出荷は7月から始まり8月に入って出荷ピークに入る。山形産は早生品種が7月下旬から、「あかつき」が8月から始まり出荷ピークは上～中旬からとなる。福島産は生育順調で、主力品種「あかつきは」7月23日から始まり、8月初旬から出荷ピークに入り、旧盆明けはダラダラとした出荷となる。
すもも	山梨 長野 山形 など	896	105%	827	548	前年並み ～安い	534	168.0	18.8%	7月下旬には早場産地で晩成種「貴陽」の出荷が始まった。「太陽」は8月に入ってからの出荷となり、1週間後にはピークに入る。山形産「ソルダム」が7月下旬から開始、7月末から出荷ピークに入り、8月上旬から旧盆まで十分にある。旧盆明けは各産地ダラダラとした出荷がしばらく続く。
りんご類	長野 山形 など	2147	100%	2458	414	高い	389	234.0	10.9%	本年産の新りんごは7月上旬から長野産極早生種、8月月初めから山梨産、中旬には長野産「つがる」、20日過ぎから岩手産「紅口マン」と、順次出荷開始の見込み。新りんごは総じて生育順調。青森産の冷蔵品は、少なかった前年並みであるため、旧盆前はそこそこ引き合いがある。ただし盆明け後に本格化し軟調推移の見込み。
ぶどう類	山梨 長野 など	3672	110%	3561	1070	高い	936	808.0	22.0%	山梨産の露地「種なし巨峰」の出荷は、前年より遅れて7月22日より出荷が始まる。7月の低温で生育進度はゆっくりだが、8月5日頃から旧盆に向けて増量ペースに入る。山形産「デラウェア」は無加温物の出荷が7月末から始まり旧盆に向けピークを迎える。岡山産「ピオーネ」は前年並みの出荷状況で旧盆の週末であり、「オーロラブラック」の出荷も盆明けまで続く。長野産「巨峰」は7月下旬より始まり、8月上旬から増量し、上～中旬にはピークに入る。
メロン類	北海道 静岡 など	2096	105%	2217	426	高い～前 年並み	441	589.0	28.1%	関東産は気温高の影響で生育前進し、当初見込みより早め出荷となっていたが、7月上～中旬の気温が低く月末まで続いた。8月、北海道産の出荷量は前年より増加の見込み。ハウス物からトンネル物に切り替わり、前年は赤肉メロンが盆前に少なくなったが、本年は盆前に出荷ピークとなる。盆明けは青肉と赤肉が同じ割合となる。青森産は7月の出荷量が多く、8月に入ってから減少傾向に入り、盆前にかけてさらに少なく、メロン類全体では引き合い強くなり、上げ基調と予想される。

8月の果実の見通し

令和元年7月31日現在
山形県東京事務所

品目	区分 主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
すいか類	山形 長野 など	7909	95%	9530	190	高い	176	4060.0	51.3%	長野産、山形産ともに順調な出荷であったが、気温が低く引き合いは弱かった。山形産は7月末から旧盆にかけて出荷ピークとなり、その後はダラダラとしたペースに。長野産は8月上～中旬の出荷量は多く、旧盆時期は若干減少するも8月末から若干増加し、9月を迎える。北海道産は7月末から徐々に増加し、8月の出荷量は前年より多い見込み。秋田産は7月下旬より販売始まり、8月中旬ごろまで。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果㈱)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)